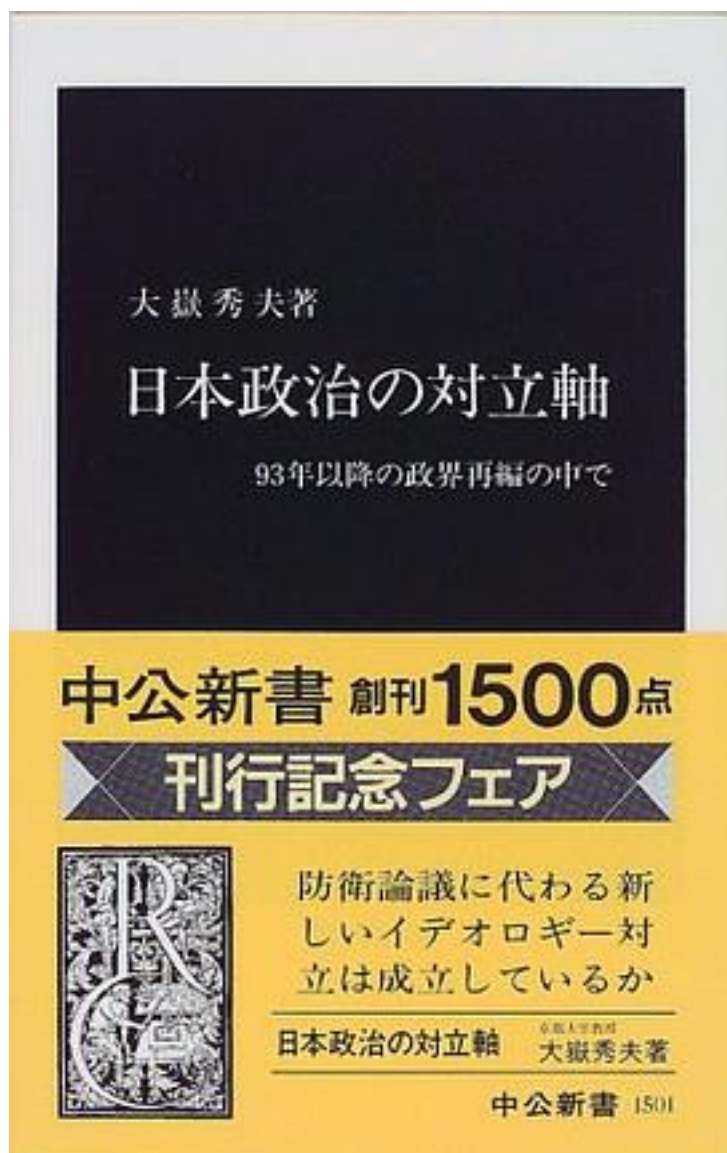


# 日本政治の対立軸



[日本政治の対立軸\\_下载链接1](#)

著者:大嶽 秀夫

出版者:中央公論新社

出版时间:1999-10

装帧:新書

isbn:9784121015013

戦後日本の最大の争点であった防衛問題は、冷戦の終結・五五年体制の崩壊とともに政党間の対立軸としての意味を失った。90年代最大の課題であった「政治改革」は政策不在の状況で追求されたのである。その中において唯一の明確な政策パッケージは80年代の中曽根行革の流れを継ぐ「新自由主義」であるが、これに対抗する一貫した議論は未だ存在していない。細川護熙、小沢一郎、橋本龍太郎等の政策を分析し現代政治の課題を問う。

作者介绍:

目录: 第1部 政界再編の中の政策対立軸(55年体制下における政策対立  
政界再編の中の対立軸  
「第二」の政党—90年代に登場した二つの「民主党」)  
第2部 平成不況の中の橋本行革(1990年代中期における日本の経済社会  
「橋本行革」の登場、展開、挫折)  
..... (收起)

[日本政治の対立軸\\_下载链接1](#)

## 标签

日本政治

比较政治

民主政治

一般教养

## 评论

真的非常值得反复读的一本好书~

-----

非常有名的一册著作。其中第一篇日本改革的三种势力，源自作者那篇引用率非常高的论文。虽然大岳写书充满了印象论性的“实证分析”，但是在Levithan世代里，对于现实政治问题的敏锐度和锐眼的分析视角，大概没有人能够超过他。就90年代日本政治的离合聚散而言，除去Curtis的那本着力描述自民党长期政权治乱兴衰的著作之外，此书大概算是就一般人和学者而言都是能够获益良多的作品。就将笼统的论点转为验证可能的案例或者数据而言自然是重要的，但是，发生了什么？这样“简单”的问题，是否政治史的学者就可以提供让人满足的答案，还是说，政治学者同时代的诊断也同样的重要，个人感觉，读完此书会有不一样的印象

-----  
[日本政治の対立軸 下载链接1](#)

## 书评

-----  
[日本政治の対立軸 下载链接1](#)